

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立持田小学校

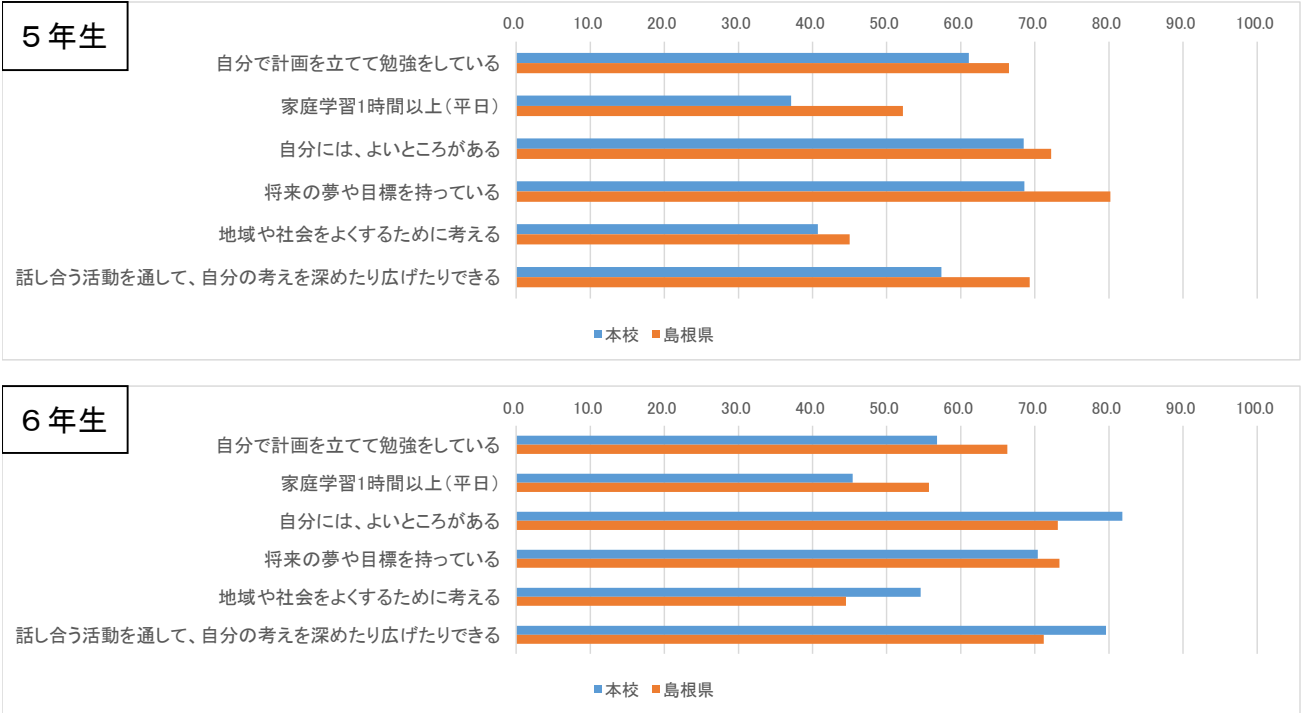
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○月1回の書き取り会に向けて、熱心に練習を重ねる児童が多いため、漢字の読み書きがよくできていた。 ●読解に時間がかかり、最後の問題にたどり着いていない児童が多かった。目視で速読する訓練をしたり、問題の解き方に慣れさせたりする必要がある。 ●言葉のきまりや修飾語の正答率が低い。下学年からの積み上げが大切であると考ええる。	○漢字の読み書きや言葉の意味理解などの力を付けている。 ○無回答の児童が少なく、何とか文章を書いて、答えようとする意欲が感じられる。 ●文章全体を読み取る力が弱く、問題文の前後を関連付けて読むことができていない。 ●条件作文に慣れていないこともあり、条件に合わない作文を書いている児童が多い。
算数	○分数、小数の四則計算がよくできていた。 ●図や式、言葉で表現することや図形(特に立体)領域を苦手としている児童が多い。 ●算数用語の意味理解が不十分である。	○基礎的な問題は十分理解できており、根気強く問題に向かっていこうとする意欲が感じられる。 ●小数倍、分数倍の考え方が不十分である。 ●量分数と分割分数の意味理解が不十分である。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○「家の人と決めた約束や決まりを守っている」「学校のきまりを守っている」のポイントが高いことから、規範意識が高いことが窺える。 ○家庭や学校での生活ぶりは、比較的落ち着いていることが窺える。 ●「自分で時間を決めてテレビを見ている」「自分で計画を立てて勉強している」「家庭学習1時間以上」のポイントが低いことから、家庭での学習習慣に課題があると言える。	○「自分にはよいところがある」「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる」のポイントが高いことから、自分に自信をもち、安心して学校生活を送っていることが窺える。 ○「地域や社会をよくするために考える」のポイントが高いことから、地域に愛着をもち、地域社会のために自分にできることを考えている児童が多い。 ●「自分で計画を立てて勉強している」「家庭学習1時間以上」のポイントが低いことから、家庭での学習習慣の定着に課題があると言える。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生

58

名

6年生

45

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)